

## 笑顔溢れる地域社会の実現を目指して

「パパ、今日はお家に帰ってくるの？」とある5歳児は言いました。  
パパは「花火大会の準備があるから帰りは遅くなるよ」と答えました。

5歳児が27年後、5歳の息子に言われました。

「ちち、今日もJC?それとも花火？」

今ならそのパパの気持ちがわかります！

### 【はじめに】

1963年、地域社会の向上のみならず、広い視野を持ち、志を同じくする国内及び国際の青年経済人と連携を取り、明るい豊かな社会の実現のために努力することが、地域社会の発展に結びつくという理念のもと全国241番目のLOMとして古川青年会議所が発足しました。これまでに575名の会員がその熱い想いを受け継ぎ、地域のため、子供たちの未来のため、そして自己成長のために、多くの運動を展開してきました。我々は昭和、平成、令和の時代を駆け抜け、様々な地域課題に取り組んできた62年という長い年月の中で社会課題解決に向けた運動を起し続けてきたからこそ、地域からの共感を得て賛同をいただき、おおさき青年会議所の地位を確固たるものにし、今日まで創り上げてきました。青年会議所の運動は、地域が直面する課題を抽出し、あるべき姿を描き、解決に向かって目的が明確に定められ構築されています。我々は、JCのスケールメリットを活かした経験を通じて地域課題の解決と自己成長を社業に還元することで、地域貢献と自社発展の好循環を生み出せます。青年会議所の最上位目的である「明るい豊かな社会の実現」に向けて、JCにしか作れない運動を展開し、我々だけではなく行政、企業、各種団体、そして地域住民といった地域に携わるすべての人と協働のもと、「笑顔」溢れるおおさき地域を共に築き上げていくことを目指します。

～笑顔～「笑顔」には人を動かす力があるはずです。「笑顔」は人と人を結びつけ、信頼を築き、困難な状況でも前向きに立ち向かうエネルギーを与えてくれます。私たちの運動のすべてが、地域の「笑顔」を引き出し、その「笑顔」がさらなる喜びを生み出すサイクルとなります。そして、いつの日か自分たちが創り上げた胸を張れる地域を実現できれば、希望と「笑顔」に満ちたおおさきになると私は確信しています。

予測が難しく変化の激しい時代だからこそ、柔軟な思考で地域課題を先読みし、前向きな行動を通じて希望を広げ、市民と共に、「笑顔」が溢れる地域を実現します。

### 【活力あふれる地域づくり】

地域社会が持続的な発展を遂げるためには、次代を担う若者のシビックプライドの醸成が欠かせません。近年、地域住民が主体的に関与する機会が減少し、地域の独自性や魅力が埋もれ、外部からの関心を引くことが薄れた結果、地域経済の停滞が進み、地域の活力が失われつつあります。若者が地域の魅力を効果的に発信し、その価値を地域内外に広めることは、地域の未来を切り拓くことに直結します。地域に対する愛着と誇りを持った若者が、自信を持って地元の歴史や文化、食や自然の素晴らしさを他者に伝えることで、情熱が広がり、力強い発信は、「笑顔」溢れる未来を築く原動力となり、若者からまた次の世代へと継承されていきます。そして、多様なステークホルダーと連携し、地域課題も強みもふまえ、地域の魅力を最大限に活かしたシティープロモーションを行うことで、郷土愛を深め、地域への誇りを強く育みます。

若者が地域の価値を広める能動的な市民として活躍する機会を提供することで、「笑顔」溢れる地域社会を実現します。

### 【未来を創る子どもたちの健全育成】

活動エリアの市民意識調査（※1）によると、現代の子供たちは、少子化や核家族化の進行、地域コミュニティの衰退、そして高度情報化社会とITの発展により、一人で遊ぶ環境が増え、子供同士で遊ぶ機会の減少といった様々な要因により、周りの人々との関わりが希薄になっています。それに伴い、人とのふれあいや文化、芸術に触れることで心が動かされる機会が減っています。特に、子供の時に培われる様々な経験や地域活動を通じて得られる自己肯定感が重要です。これらの経験は、子供たちに自信を与え、未来に対して前向きな姿勢を育む土台となります。私たちが住むこの地域には、子供たちが多様な体験を積むための理想的な環境が整っています。様々な経験を通じて、子供たちは自己肯定感を高め、他者との協力や社会への関心を深め、健やかに成長していきます。私たちは、子供たちが未来に対して希望を持ち、夢に向かって「笑顔」で成長できる環境を提供することで、新しいことに好奇心を抱き、自分の意見や考えをしっかりと持ちながら、他者とのつながりを深めて、自分らしく成長できると信じています。

我々は地域とともに、子供たちが前向きに成長できる環境を整えることで、「笑顔」溢れる社会を実現します。

### 【溢れる笑顔が未来を明るく照らす、おおさきのシンボル】

おおさき花火大会は、毎年夏の夜空を鮮やかに彩り、地域に愛され続けている風物詩です。しかし、昨今の社会情勢により、開催が危ぶまれるほどの多くの困難に直面しています。そのような中でも昨年は地域の皆様からの多大なるご協力により無事に開催することができました。子供たちの「笑顔」を守り、未来に希望を灯し続けるためにも、我々は花火を打ち上げ続けなければなりません。花火大会は、美しい光景などを提供するだけでなく、地域全体を一つにまとめ、「笑顔」を活力に変える地域の象徴です。特に子供たちにとって、花火大会は心に残る特別な体験となり、未来への希望を灯すきっかけとなります。おおさき青年会議所は、地域のシンボルである花火大会を持続可能な形で守り続け、次世代に引き継ぐ責任を担っています。地域住民や関係各所との絆を大切にしながら、より安全で安心な花火大会の実現を目指し、地域全体の結束を強め、未来への希望と活力を創出します。

光の架け橋が夜空にかかる時、地域と子供たちの「笑顔」が輝き、希望に満ちた未来への一歩をともに描くおおさき花火大会を実現します。

### 【誰もが憧れ、未来へつなげる会員拡大】

おおさき青年会議所では、昨年度は20名の新たな仲間を迎え入れた一方で、入会歴の浅い会員が半数以上在籍し、3年以内に卒業予定の会員が全体の約3割を占めており、会員数の減少や入会歴の浅い会員の増加という転換期を迎えています。だからこそ改めてJC運動への共感を促し、JC活動を通して様々な学びの機会を自分自身で掴み、自己研鑽の機会の提供から同じ志を持ったリーダーへと成長することで、地域により良い影響をもたらす、魅力のある組織となる必要があります。青年会議所の魅力の一つは、青年であれば、誰もが挑戦でき、単年度という限られた期間の中で会員がそれぞれ多様な役職を経験し、それぞれの立場で学び、成長できることです。私たちの使命は、地域の課題を解決する運動を起こせるリーダーを輩出することです。そのためには、多様な背景を持つ地域の青年を迎え入れ、組織の視野を広げ、地域に貢献できる仲間を増やすことが重要です。さらに、青年会議所の理念に共感し、共に成長できる会員一人ひとりが、その魅力を周囲に伝えることで志が重なり、会員候補者から共感や賛同を得ることができます。私たちは会員拡大を全員で取り組み、新たな仲間とともに広範なネットワークを形成し、より強固な組織を築いていくことができます。青年会議所でしか得ることができない成長の機会を最大限に活かし、魅力的なJAYCEEへと成長していきましょう。

会員拡大運動をおおさき青年会議所の基本運動と位置付け、20名以上の拡大を達成し「笑顔」溢れる組織を実現します。

### 【組織の中核を担う会務運営と情報発信】

組織は規則の遵守はもとより、会議においても丁寧且つ円滑な運営が基本となります。凡事徹底することで会議が円滑に進み、全員が効果的に意見を交わし、組織の一体感が高まることで、より良い事業を実現するための基盤が築かれます。即ち、全ての会員が一丸となり、組織の目的を理解し、規則規律を守り、理想の組織運営に取り組むことが必要です。さらに、私たちが抱く夢や理想、そして熱意を効果的かつ戦略的に地域へ向けて広報することで、地域の関心を高め、共感を生み、芽生えた当事者意識が、共に地域の未来を築く力を育む一歩となります。

私たちは、先人たちが築き上げてきた基盤に敬意を払いながらも、時代に即した新たな運営と情報発信の方法を追求することで、「笑顔」溢れる組織を実現します。

### 【未来を見据えた交流】

青年会議所は、国内外で運動を展開し、広範なネットワークを活かした多様な交流を行っています。地方都市においても、グローバル化が進む現代では、異なる文化や価値観を呼び込み、地域経済の活性化につなげていくことが重要です。この国際の機会を活かし、地域経済の活性化と対応できる人材の育成を進め、おおさきの発展へつなげます。国際交流を通じて得られる多様な視点や経験は、私たちの活動に新たな可能性をもたらし、地域に革新と活力を与える原動力となります。私たちは、世界の仲間と手を取り合い、共に学び、地域の発展と国際的な友好関係の構築に挑戦します。この取り組みは、地域社会の多文化共生を実現に寄与するとともに、次代へつなげる重要な分岐点となります。グローバル化を積極的に進めることで、地域に新たな価値を創造します。

私たちは、国際交流で得られる知見とネットワークを活かし、「笑顔」溢れる地域社会を実現します。

### 【持続可能な組織づくり】

青年会議所は、社会奉仕と会員自身の成長を追求する組織です。花火大会や様々な事業を通じて地域に対し私たちの声は届いているものの、その姿が見えにくいという現状があります。私たちの理想は、地域のオピニオンリーダーとして、声だけでなくその姿もはっきりと見える存在になることです。現在、組織全体が大きな変革の時を迎えており、次世代のリーダー育成が急務となっています。我々は地域の「笑顔」溢れる未来を実現するために、革新と成長を追求し、これまで以上に新たな思考を現実化に向け積極的に取り組むことで、会員一人ひとりの能力開発を進めていきます。地域が直面する様々な課題に対応し、発展へとつなげていくためには、私たち自身が不易流行の精神を持ち、変化に柔軟に対応することが不可欠です。この数年で築いてきた広範なネットワークを十分に活かし、新たな可能性を追求しながら、私たちは常に学び行動し続け成長していくことが重要です。創始から受け継がれてきたつながりを最大限に活用し、連携を強化することで、組織の活力をさらに高めていきます。また、会員一人ひとりの成長を促しリーダーシップを向上させることで、地域の課題解決に向けた力を一層強化していきます。40歳までの限られた時間を最大限に活かし、若さと情熱をもって変革を進め、地域に明るい未来を創り出し、絶えず新たな取り組みを行っていきます。

そして、新たなスタートを切り、未来に向けて「笑顔」溢れる組織を実現します。

### 【結びに】

私は2019年におおさき青年会議所の門を叩きました。きっかけは、ある卒業された先輩と私、そしてかつてJCを途中退会した先輩の3人で食事をした時のことです。あの時、先輩の熱意ある説得に心を動かされ、入会を決意しました。さらに、その場にいた途中退会した先輩も、その熱意に引き込まれる形で再び入会することになりました。入会当初は何も分からず、ただ先輩の背中を追いかけながら、毎月の委員会や例会に参加する日々が続きました。しかし、年月を重ねるにつれ、LOMの委員長の役を担うこととなりました。理事会では多くの意見が飛び交い、自分が理想としていた事業を進められず、感情を抑えきれない場面もあり、当時の役員の皆様にはご迷惑をおかけしましたが例会を無事に終えることができました。翌年からは、入会のきっかけとなった先輩も重役を担い、先輩についていく形で出向の機会をいただき、私自身も大きく成長し、自分を変える転機となる貴重な経験を次々と積むことができました。これまでの経験と青年会議所での出向を通じて、様々な人たちとの出会いがあり、仕事に対する考え方や取り組み方にも大きな変化が生まれました。今の私があるのは、現在の会員や、多くの方々の支え、そして温かいご厚意をいただいた先輩方のおかげです。私も、最初は経験の浅い会員の一人でしたが、経験を積むことで理事長を務めるまでに成長できたように、誰にでも機会があり、努力と経験を重ねれば、会員はリーダーとしての力を存分に発揮できるようになります。私たちが変化を恐れず、挑戦を楽しむことで、おおさき青年会議所はさらに飛躍し、地域社会にとつ

て不可欠な存在となります。困っている誰かのために、助けが必要な誰かのために、自ら手を差し伸べることが大切です。

私たちが共に前進し、「笑顔」溢れる未来を実現するために、全力を尽くし、若い力を結集して理想のおおさき青年会議所を築き上げましょう。

大崎市総合計画（令和5年11月）市民意識調査